

平成24年度「森林（もり）の市」で水源林の重要性をアピール

平成24年5月12日（土）～13日（日）に都内の日比谷公園で『第22回森と花の祭典「みどりの感謝祭」』との併催行事として、農林水産省、林野庁、緑化推進団体等の主催により「森林（もり）の市」が開催されました。

本祭典は森林・樹木・花などの自然とのふれあいを通じてその恩恵に感謝するとともに、健全な青少年の育成や地球温暖化防止に資する緑化運動を推進することを目的として毎年「緑の月間」に開催されてきました。

昨年の「森林の市」は、東日本大震災の影響で中止となってしまいましたが、森林農地整備センターでは、都市住民の方々に森林の持つ公益的機能等に対する理解を深めて頂く機会として、森林総合研究所の一員として一昨年に引き続き平成24年度「森林の市」に参加しました。



▲ 森林総合研究所のブースの様子

- ①森林GISシステムのデモンストレーション
- ②木の枝を使ってえんぴつづくりをする工作体験
- ③水源かん養機能などの森林の持つ公益的機能や森林整備の必要性についての説明



▲ えんぴつづくりの様子



▲ 水源林造成事業のDVD放映及び森林GISシステムのデモの様子